

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)	◎	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・客の消費購買欲求はかなり高まってきている。支援金の配付やボーナス等の後押しもあって、年末初売りの消費拡大がかなり期待できる。さらに、春に向けても後押しをしていけば良くなるとみている。しかし、新型コロナウイルスの感染状況によっては大きくマイナスになることも考えられる。
	◎	旅行代理店 (従業員)	・Go To Travelキャンペーンが再開すれば良くなるとみている。
	○	百貨店 (売場主任)	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルスに対する安心感が広まれば、旅行やビジネス等人々の動きが更に活発になり、消費も上向くとみている。
	○	コンビニ (経営者)	・相変わらず客単価や購入点数は堅調に推移しているなかで、新型コロナウイルスの落ち着きで来客数が増加してきている。今後もこの傾向が続くとみている。
	○	コンビニ (経営者)	・現状と同様に来客数の減少を単価増でカバーしていくと推測される。
	○	コンビニ (エリア担当)	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、人流は19年に戻りつつあり、リベンジ消費に期待したい。
	○	衣料品専門店 (経営者)	・当地では新型コロナウイルスの感染者数が激減し、人出が増え来客数も増加しているため、今後の売上増加に期待している。
	○	衣料品専門店 (店長)	・前年来、コロナ禍により入学式、卒業式、入社式といった行事がなかったため、行事の中止によりスーツを着る必要がなく我々にとってデメリットとなっていたが、今年はこのままでいくと中止の心配はそれほどないとみているので、その分非常に期待している。
	○	乗用車販売店 (従業員)	・ニュースなどでいわれるように部品供給が改善されているならば、新車の配車が増加するとみられる。決算時期でもあり期待できる。
	○	乗用車販売店 (店長)	・車両生産の見通しが具体的に立っているため、現在の納車待ちも急速に回復するとみられる。収益も続いて回復するので見通しは明るい。
	○	住関連専門店 (経営者)	・県内で新型コロナウイルス新変異株の感染者が広がらなければ、3月はお彼岸の月に入るので仏具類の需要も増す。したがって、景気も上向きになるとみている。
	○	その他専門店 [靴] (従業員)	・新型コロナウイルスの影響がこのまま維持されれば、活発な人の動きが継続されるとみている。
	○	その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (営業担当)	・飽くまでこのまま感染拡大しないことが前提だが、動き出すと今まで耐えていた反動で一気に景気が良くなる可能性もある。しかし、一過性で長続きもしないと予測している。いずれにしてもこれ以上の感染拡大はあってほしくないと願う。
	○	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・例年並みの寒さもあり、灯油販売量の増加が見込まれる。
	○	高級レストラン (支配人)	・前年と比べ来客数の動きが出ており、予約状況も良くなっているため、3か月先も良い感じになると予想される。
	○	観光型ホテル (スタッフ)	・Go Toキャンペーンの再開が想定される。
○	観光型旅館 (経営者)	・楽観視はできないが、新規感染者数の爆発的増加がなければ回復に向かうとみている。	
○	観光型旅館 (スタッフ)	・Go To Travelキャンペーンが再開するかどうかが決まるが、再開したとしても前回よりもメリハリをつけた内容になるようなので、前回のように毎日が満室という結果にはならないとみている。再開されない場合は、景気は悪くなるとみている。	

○	旅行代理店（従業員）	・県民向け割引施策の対象が隣県等への拡大や、対象期間の延長がプラス要因となっている。さらに、国策であるGo To Travelキャンペーンも控えている。これら施策が無事運用されることで今よりも良くなる。国内旅行部門はある程度期待は持てるが、海外旅行・訪日旅行は依然壊滅的な状況であるため、社業全般では引き続き厳しい状況が続く。
○	タクシー運転手	・年末年始で人や物の動きがある。
○	通信会社（営業担当）	・年度末に向けて、個人向けのメニューではなく、法人向けのメニューを作り展開する予定である。特にインターネットの法人向けは、少しずつではあるが、個人向けに比べて反応が良くなってきているので期待している。集合住宅への一括導入は、新生活応援キャンペーンの目玉として契約増加が見込まれる。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスも落ち着き始め、消費量が増えていくとみている。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株が増加傾向にあり、景気回復には時間を要する。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・売上を押し上げる商材の見通しが立たないために、既刊本の仕掛け販売を予定している。しかし、反応があるという確信があるわけではないため、引き続き厳しい状況が続くとみている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・年末年始が終わっても、よほどのことがない限り今の状態が続くとみている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・コロナ禍の悪影響を考えれば、今の状況は様々な経済対策が奏功して維持されているとみられる。しかし、制度改革、全般的な社会変革を経て生産性の向上がもたらされない限り、安定した景気上昇局面は望み薄である。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大懸念がある。移動自粛や購買意欲への影響が想定される。
□	百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向による。今後増加するようであれば再び外出控えが増え、商況は厳しくなる。
□	百貨店（経営者）	・ここに来て新型コロナウイルス新変異株が出たことにより、回復傾向にあった売上も頭打ちの感がある。今後の新規感染者数に大きく左右される。少々の風雪などの悪天候も外出自粛の要因ともなることから、一進一退の状況が続くとみている。
□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が始まり、少し落ち着いていた新型コロナウイルス新規感染者数が増加している。これが消費者心理を冷え込ませることにならないか懸念している。依然として飲食店、観光関係含めて景気の良い話は聞かえてこない。現在の余り良くない消費傾向はしばらく続くとみている。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株が年明けに流行するかによって、販売量が左右されると考えている。
□	スーパー（企画担当）	・今もまだ新型コロナウイルス新変異株の心配があるため、内食需要は続くとみている。2～3か月後もまだ様子見の状況にあり、食品小売業については春先まで今までどおりの好調を維持できるとみている。
□	スーパー（営業担当）	・ワクチン接種が進み人流は回復傾向にあるが、購買は先行きの不安から慎重で、買上点数、客単価が戻らない傾向にある。
□	コンビニ（経営者）	・ワクチンの効き目が短いようなので、客も動いては自粛して動いては自粛しての繰り返しになるとみている。よって、低い水準のまま横ばいが続き、3か月後も変わらないとみている。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いたが、人の動きが良くない。新型コロナウイルス新変異株の感染者が今後増加しないか心配である。
□	コンビニ（経営者）	・まだ雪の影響で来客数が落ち、除雪代の支払も終わっていない頃なので今と厳しさは変わらない。ただ、複数経営しているうち、ホテル下の店舗の売上が徐々に戻りつつあることには希望が持てる。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の発生で、今後の状況を見ながら行動を慎重にしている人が多い。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・ワクチンの3回目接種が進めば、より人の動きが活発になり、消費行動も変わってくるとみられる。しかし、現状からの見通しでは3か月先も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・物価が非常に上がり始めていることへの一般消費者の不安がある。金がある人となない人がはっきりしているというところでは良いとも悪いともいえない状況である。新型コロナウイルスの感染が落ち着いても消費に向かわない雰囲気が残っており、特に飲食店などは2～3月にかかり閉店するという雰囲気も感じられる。全体的に悪い意味で変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がどのように現れてくるのかが不安要素である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・寒さも厳しいなか、灯油、ガソリン等の価格高騰もあり、商売的に難しそうである。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・第6波を懸念する声もあるが、人流は増加傾向で消費も今月の推移を維持すると予測する。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス新変異株も徐々に広がりを見せつつあるなか、今後も慎重な行動をとる消費者が多くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・年末年始の人流による。今後の感染状況によっては、再度景気低迷の懸念がある。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・原油価格の高止まりにより灯油やガソリンなどの価格が上がったままの状態であることや、新型コロナウイルス新変異株などの問題が客に不安を感じさせている。明るい材料はない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症対策のため、来客数が伸び悩んでいる状況があり、当面は横ばいの状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・個人の消費がなかなか伸びないので、今後も景気は上向きにならないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新車納期と部品用品の納期も改善されていないため、2～3か月先も大きな変化はないとみられる。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・年度末にかけての受注残があり、それを生産し納品をするため、今月とほぼ変わらないような状況が続く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	・飲食店等が本格的に動き始めるのはまだ先になるとみている。このまま小康状態が続くのであれば、来年春以降に動き始めることを期待している。それでもコロナ禍前の70～80%程度までしか回復しないとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・原油価格の高止まりにより、当面は高い販売価格のまま推移する。それにより現状の節約志向はまだまだ続くとみられることから、販売量の回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響による第6波が来るかどうか懸かっている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株次第である。既に景気は底で今とさほど変化はないとみているが、感染者が千人単位で増える地域が再び出なければ歓送迎会も期待が持てる。どちらに転んでも新型コロナウイルスの治療薬が出ない限り、夜の飲食店は底辺から抜けられない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況によるが、楽観はできない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・年末年始後の新型コロナウイルス感染症の状況に大きく左右されるが、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が出始めていることもあり、旅行を取りやめる動きも顕著になってきていることから、悪化傾向を想定している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・年末年始の人の移動が増え、新規感染者数が右肩上がりになることが予想されるため、景気は現状のまま推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・好転するような材料に乏しく、停滞が継続するとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株が発生し、先行きが不透明になっている。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・団体などの予約は若干あるが閑散期であるため変わらないとみている。若しくは感染状況次第で悪くなる可能性もある。

□	美容室（経営者）	・今月の売上回復が続いていけばよいが、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が出てきたため、客が次に美容室に来るまでの期間が長くなる可能性が残っており、何ともいえない状況である。
□	美容室（経営者）	・今のまま人の活動が増えていけば、2～3か月後も良い状況が続くとみている。
□	美容室（経営者）	・新規客は余り来ないので変わらない。
□	住宅販売会社（経営者）	・一部資材に納入予定が立たない物があり、工期が確定できず、決算期に引渡し完了できるかが不明であり、工事代金回収期が未定となっている。
▲	商店街（代表者）	・消費が一時止まったような感じがあるが、予約状況からみて先行きはかなり悪くなるとみている。新型コロナウイルス新変異株の波及状況によりかなり変わってくるとみている。
▲	商店街（代表者）	・まだまだ自粛が続きそうである。
▲	商店街（代表者）	・現時点では好調な来客数だが新型コロナウイルス新変異株の影響が心配である。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株が徐々に広がりを見せており、再度パンデミックの危険性が考えられる。
▲	一般小売店〔酒〕（経営者）	・今は大変良いが、この先新型コロナウイルスの影響でまた規制が掛かれば悪くなる。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・年末年始の人の移動が終わる頃、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が広がるとの不安を誰もがもっており、出歩く人が少なくなると予想している。繁華街でも以前の新型コロナウイルスの感染拡大時のときと同じように人が来なくなることを心配している。
▲	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が流行の兆しをみせ始めたことが、どこまで経済に影響を与えるのか不透明なところではあるが、このまま上向きが続くとは考えづらい。
▲	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響があり、消費者の買い控えは続くともみている。
▲	スーパー（経営者）	・各メーカーより年明けから値上げの連絡が来ている。そのまま値上げすると客単価は下がるとみている。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの第6波が懸念される。再度、緊急事態宣言が発出される可能性もあるとみている。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響下で、今現在飲食店への客足が若干戻りつつある。その傾向が続き、スーパー業界全体に影響が出てきそうな気配がある。
▲	スーパー（営業担当）	・人流増加後、新規感染者数の増加状況次第では、再び緊縮財政になると心配している。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス新変異株、若しくは他の株の感染がまた必ず流行する。国民は自由に外出できず、購買活動がなされなくなる。
▲	一般レストラン（経営者）	・これまで外出を控えていた人が11～12月になり出てきたという状況だが、春くらいにはまた新型コロナウイルス新変異株などの影響が懸念され、今よりも落ちていくような予測をしている。
▲	一般レストラン（経営者）	・1月の新年会の予約が余りないので、今よりはやや悪くなるとみている。コロナ禍前と比べたら来客数は5割くらいである。
▲	タクシー運転手	・街中で人の動きは良くなっているが、新型コロナウイルス新変異株の動きによってはまた冷え込んでしまうと心配している。
▲	タクシー運転手	・12月は年越しの準備のため動きが活発であるが、2～3月は今までの経験から、人事異動の時期前に当たるので動きが消極的になり、今月と比べると景気は下向きになるとみている。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株感染拡大の懸念とEU諸国での新型コロナウイルスの感染拡大により、経済の流通、留学生の人流にストップが掛かり、教育関連、観光関連、小売業への打撃が予想されるため、やや悪くなるとみている。

	▲	観光名所（職員）	・テレビで新型コロナウイルスの感染拡大状況が報道されるにつれ、客が減ってくるというのが今までの傾向である。この先、新型コロナウイルス新変異株の感染状況がどう変化していくかで来客数も変わってくる。どちらに転ぶか分からず判断が難しい。G o T oキャンペーン等の対策を期待しながら待っているところである。国の対策が何かなければ伸びていく要素はないとみている。
	▲	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の動向やガソリン価格を含む物価上昇が懸念要因となり、景気は下降傾向になることが見込まれる。
	▲	競艇場（職員）	・毎年12～1月の売上が良く、以降は下がってしまう。イベント等で来場促進を図ってもなかなか結果が出ない状況が続くと予測している。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・年末年始の販売増加、利益増加が期待できない。また、正月明けには再び行動自粛の懸念もあり、良くなるとは思えない。
	▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器については、給湯器は納品遅れにより予約注文となる。納品の遅れは給湯器以外にも波及するすとみている。リフォームについては、屋外の工事が減るとみている。
	▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大してきているため、元々購入を検討していた客の動きには影響はないが、半年後・1年後・数年後などに購入を検討している人の動きは鈍くなるとみている。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株による第6波が1～2月にかけて到来すると予想している。緊急事態宣言等の発出があれば更に景気は悪化するとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・今月は近くで研修などがあったため客足が戻ったが、これから天候が悪くなるにつれて客足は遠のくとみている。
	×	家電量販店（店長）	・米農家の収入減少の影響が続くとみている。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が収束し、かつ飲み薬等でガードできるようになれば回復してくるとみているが、今は少し難しいとみている。
	×	設計事務所（経営者）	・震災復興に関する工事も終了し、新規発注案件も限られているなか、厳しいダンピングによる受注競争が始まっている。今後ますます悪化することが予想される。
企業 動向 関連  (東北)	◎	建設業（従業員）	・年度末までに受注が見込まれている案件があるため、景気は上向くものと推測している。
	◎	建設業（企画担当）	・新型コロナウイルス感染による被害が、これまでより少なくなっている。
	○	農林水産業（従業者）	・J A出荷分のりんごの精算について、J A職員が高い予想であると言っていたので、前年よりも販売単価が高くなることを期待している。
	○	食料品製造業（経営者）	・人の動きが活発化してきているのは売上の良い傾向である。来年2月には一部商品の値上げを実施する。収支の改善ができれば経営的には少し良くなる方向に向かう。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・役所等の年度末の仕事が見込める。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・今後は新規開発製品が増える見通しで、技術系設計者を増やして対応していく。徐々に事業が拡大し、景気が良い方向に向かうと考えられる。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・例年、取引先は各業者に対し、年度発注予定案件を第3四半期末～第4四半期に集中して発注する傾向がある。あわせて、年度末での売上予定案件が多いため、やや良くなると想定している。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・受注量回復の兆しがある。
	○	金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が最小限である前提だが、海外の例を見ても人の流れや経済活動は当面停滞しないとみている。
	○	広告代理店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくれば良くなるとみている。政府の政策に大いに期待している。

	○	公認会計士	・新型コロナウイルスの感染が今の状況を保ち、新規感染者数が急激に増えなければ、サービス、飲食、小売業関係は回復基調を保つとみられる。建設業等は現状維持としても全体的には景気はやや良くなると判断している。
	○	その他企業〔協同組合〕 (職員)	・依然として原材料等の価格急騰に対して価格転嫁がなかなかできないなかで、新規見積案件等が増加傾向にあり、徐々にではあるが改善傾向に向かっている。
	□	食料品製造業(営業担当)	・今後2～3か月では変化は少なく、販売量は現状維持が続くとみている。各種原材料費が値上がりしているため、利益面での心配が増えている。
	□	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・新型コロナウイルスによるダメージから、経済会全体に自重する動きが定着してきている。特に地方では、飲食店を始め観光業に回復の兆しが見られない。さらに、厳しい冬を迎え、消費が更に落ち込むことが予想される。
	□	金属製品製造業(経営者)	・足元の販売は好調なようだが、半導体不足や素材の高騰などの影響で、客が生産計画策定に慎重になっている。
	□	建設業(従業員)	・新型コロナウイルスの感染拡大による懸念はあるが、契約は前年並みになる見込みである。
	□	通信業(営業担当)	・新規設備投資は今後の受注に大きく影響するものであるが、コスト面で客との折り合いをつけるのも容易ではない。継続して厳しい状況である。
	□	通信業(営業担当)	・半導体不足の影響が長引いており、客から要望があっても商品がなく、提供できない状態が続いている。
	□	広告業協会(役員)	・新型コロナウイルス新変異株の今後の状況が不透明であるため、2～3か月先の販促計画は両にらみの状態にある。感染拡大ならば期待のG o T oキャンペーンも再開されず、企業の販促費は減少の方向になる。
	□	広告代理店(経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の出現で、感染再拡大の懸念があり先が見えない。
	□	経営コンサルタント	・季節要因に左右されないコロナ禍での新たな消費の形が定着しつつある。
	□	司法書士	・景気の変動要因に欠け、現状で推移するとみている。
	□	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕(経営者)	・新型コロナウイルス新変異株が猛威をふるうことはないと考えている。新規感染者数が医療を圧迫しない程度に抑え込まれていれば、ビジネスや観光の人の移動は現状を維持できると考えている。
	▲	食料品製造業(営業担当)	・国内で新型コロナウイルス新変異株の発生が相次いでおり、年明けには多少なりとも経済活動に影響を及ぼしそうである。
	▲	窯業・土石製品製造業 (役員)	・地域間格差はあるものの、大規模なプロジェクトがなく官需、民需共に低調である。原材料価格や燃料価格の高騰に加え、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念材料である。
	▲	輸送業(経営者)	・予想どおり新型コロナウイルス新変異株の感染が少しずつ拡大している。感染拡大はやはり大きなマイナス要因の1つになる。また、原油価格も一時期より安くなったとはいえ、我々業界からすればまだまだ高止まり状態であり、依然として厳しい経営環境である。
	▲	コピーサービス業(従業員)	・半導体の品不足が解消するまでは、しばらく現在の厳しい状況が続くとみられる。営業のモチベーションも低くなっているが、メイン商品以外の商品でつないでいくしか解決方法はない。
	▲	その他企業〔企画業〕 (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株への警戒感が顕著になっており、身の回りでも旅行を控える人が出ている。首都圏ナンバーの車を地方で走らせるのをちゅうちょする人も多いと聞く。
	×	農林水産業(従業者)	・今後、新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数増加で、米の需要が減少し、更なる米価下落が予想される。
	×	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕(経営者)	・取引先だけではなく身の回りでもそうだが、中小企業に勤めている人が90%以上で、12月になっても会社が良くならないという話を聞く。ボーナスなどもでないという声が非常に多い。購買力が落ちているのが現状で、非常に景気が良くないとみている。
雇用 関連	◎	—	—
	○	人材派遣会社(社員)	・求人数が増加傾向にある。

(東北)	○	アウトソーシング企業 (社員)	・新型コロナウイルスも落ち着きを見せているので、回復するのではないかとみている。
	○	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス新変異株の警戒感はあるが、年末年始にかけての帰省などの旅行・レジャー、外食などの消費が伸びるとみている。
	○	職業安定所 (職員)	・在職求職者数が若干増加している。この増加は、新型コロナウイルス感染症拡大が沈静化し、今後、求人数が増え雇用環境が改善するとみる人の転職活動によるものと考えられる。しかし、新型コロナウイルス新変異株が不安要素となる。
	○	民間職業紹介機関 (職員)	・何社からか4月以降に人員数を増員する話がきている。
	□	人材派遣会社 (社員)	・求人動きでは復調の兆しがみえているものの、新型コロナウイルス新変異株の懸念から今以上に良くなるとは思えない。様子見で今と変わらない状況が続くとみている。
	□	人材派遣会社 (社員)	・新型コロナウイルスの感染が年末年始終息に向かえば、改善の見込みはあるかもしれない。
	□	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス新変異株出現の影響が分からないが、広告の引き合いも活発ではない。多くの企業が先行きに迷いを持っているため、慎重になり積極的に動かないようである。
	□	職業安定所 (職員)	・現状の良い状況は当面継続するとみている。
	□	学校 [専門学校]	・新型コロナウイルス新変異株の影響が不明である。
	▲	人材派遣会社 (社員)	・新型コロナウイルス新変異株の懸念から、経済活動は下向きに推移し、景気の回復は遅れると予測している。
	▲	職業安定所 (職員)	・原油高、物流コスト高に加え、労働市場の停滞による採用コスト高と、収益を圧迫する要素が増えている。
	×	—	—